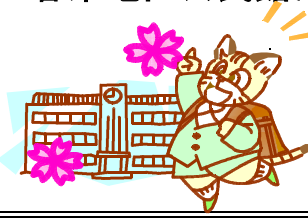


春來地区公民館だより

令和8年4月20日

春來



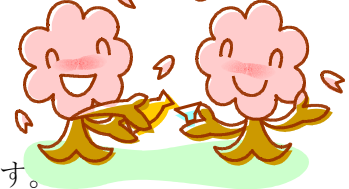
5月

第95号

(文責 田中篤幸)

新学 期

春の訪れ

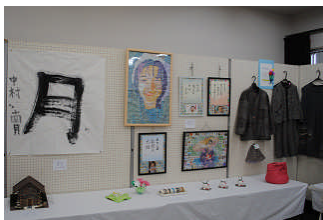


第25号です。いきいきサロン（3/17）の様子を紹介します。



この日のおやつタイムはホットケーキです。私もおよばれましたが、とってもおいしかったです。

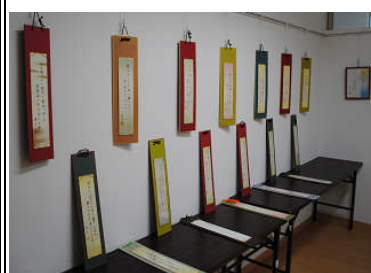
地区文化祭 ～趣味の日 作品展～ (2/28~3/6)



八田コミュニティセンターで開催されました。約100点の作品が展示されました。



福井弘子氏 短歌作品展 (4月~5月)



日本海新聞の方が3月27日に取材にこられました。

作品数は70点です。読みごたえのある作品ばかりです。



企画展、今後の予定など

★今後の予定★

R 8年

4～5月 短歌作品展（開催中）
福井弘子 氏

6～7月 絵画作品展（予定）
山西周二 氏

8～9月 切手アート展と「木の
枝工作」小学生作品展（予定）

10～11月 着物のリメイク展（予定） なっちゃんのリメイクの会

12月～R 9年3月（休館）

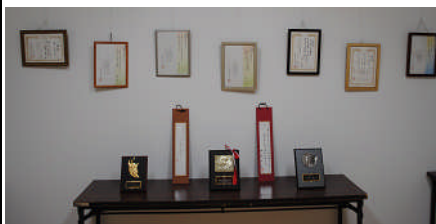
R 9年以降の計画等 ※阪本善行 氏 但馬の先人（計画中）

※田中初子 氏 絵手紙展（計画中） ※小谷 定 氏 絵画作品展（計画中）

※松崎直樹 氏 子どもの作品展（ポスター、デザイン）（計画中）

※福井哲也 氏（香住の先輩）鉄道写真展（計画中）

「短歌作品展より」



推薦一首

『うつりゆく
季節の外に
置き去られ
窓越しに見る
夜桜の美し』



春來の自然 「春の小川」



雪深いこの地区では、春の訪れは待ち遠しいものです。3月の中頃、春を探して地区周辺を歩いてみました。

桜のつぼみはだんだんと大きくなり、もうすぐ開花です。この花の美しさは日本人の魂に訴えかけるものがあると感じています。フキノトウはもうすぐです。天ぷらの苦みが春を伝えてくれます。歩いていると勢いよく流れている小さな川を見つけました。

「春の小川はさらさらいくよ 岸のすみれや

れんげの花に 姿優しく色うつしく 咲けよ咲けよとささやきながら（作詞 高野辰之）」

あっちゃんの夏休み「山芋掘り」

小学校中～高学年の時にはまったものに「山芋掘り」があります。懐中電灯を持ち出し、遅くまで掘っていた記憶があります。

どろんこになって、くらくまで家に帰らないわけですから、きっと怒られたことでしょう。その記憶は不思議なことにありませんが・・・

何がそんなにおもしろかったのでしょうか？

- 1) 宝探し・・・山芋の葉っぱを見つけ、太い茎にたどり着くと、山芋も掘りが始められます。ワクワクしながら掘り進める感覚は、お宝を発見した気分だったことでしょう。だんだんと深く掘っていくと山芋は太くなっていきます。1m、2m・・・ええい地球の裏側まで掘ってやる。たぶん、こんな気持ちだったことでしょう。
- 2) おいしい・・・山芋は小学生の私にも「おいしい」と感じる食べ物でした。そのまま食べても、歯ごたえがありました。すった山芋をご飯にかけて、お醤油をたらすと何杯でもご飯が食べられました。独特なおいも食欲をそそりました。大人になってからの一押しは、短冊に切った山芋に味のりと生卵、醤油です。その一口は至福の時間を感じる一瞬です。
- 3) 道具の工夫・・・①5寸釘・・・芋の周りを削るためのものです。途中から持ち手の部分に持ちやすい木片をつけていました。（化石の発掘道具に似ています）
②鍬・・・片手鍬。家の物置で見つけました。家の人は「とぐわ」と呼んでいました。
③鎌・・・周りの草を刈るためのものです。作業がはかどります。
④木の枝・・・1～1.5m。家に山芋を持ち帰る時、折れないように枝に巻き付けます。



